

平成23年度予算編成方針のポイント

**1 日本経済の状況及び国の動向**  
 (1) 景気 デフレや円高の影響により自律的な景気回復には至っていない状況  
 (2) 国の動向 省庁を超えての予算配分組み換えを実施。一括交付金など地方財政への影響を注視する必要あり

**2 さいたま市の財政状況及び今後の財政見通し**  
 (1) 財政状況 他団体と比較し健全財政を維持してきたが、市税収入は平成21年度から大幅に減収しており、地方交付税についても今年度交付団体となった。  
 (2) 財政見通し  
 市税収入は低調に推移する一方で社会保障費など財政需要は拡大する見込み  
 平成23年度～平成27年度 約1,069億円の財源不足  
 平成23年度 約188億円の財源不足

**3 予算編成の基本方針**  
 平成23年度予算編成は、  
 「日本一ひらかれたまち、日本一身近ではよい行政、日本一しあわせを実感できるまち」へ「ステップアップする予算」  
 「徹底した行財政改革」「徹底した情報公開」「生産性の高い都市経営」により、「子どもが輝く“絆”で結ばれたまち」を実現  
 予算編成過程を積極的に公表し、情報公開日本一を目指す

<基本方針の具体的内容>  
 (1) 徹底した行財政改革 ～創造的変革の年～  
 局長マネジメント予算編成の導入 各局長が主体的かつ責任をもって改革を実行  
 (事務事業総点検結果に基づき枠配分)  
 行財政改革推進枠の創設  
 ・事務事業総点検における「廃止事業」の再構築  
 ・「(仮称)新行財政改革推進プラン」の着実な実施  
 市民サービス向上に向けた先行投資  
 (2) しあわせを実感できる事業の重点化  
 「しあわせ倍増プラン2009」及び「総合振興計画新実施計画」事業の推進  
 「健康・長寿」「子育て」「さいたまブランド」の重点分野への局横断的な戦略的事業展開  
 \* スクラップアンドビルドの原則  
 新規・拡大事業などの優先順位付けと、見直し事業の是非を集中的に審議  
 (3) 市民の声・現場の声を反映  
 市民・事業者との協働を強化し、「市民力」を結集した施策展開を図る。  
 タウンミーティング・わたしの提案などの政策への反映  
 区役所アイデア予算枠の創設(区長による政策提案コンペ)  
 \* 区長コンペを報道機関へ公開予定  
 新たな市民ニーズへの対応  
 「市民生活重視」の予算編成  
 (4) 普通建設事業費の抑制 臨時的な建設事業の1件査定  
 (5) 歳入の的確な確保及び新たな財源の創出  
 (6) 国の動向の的確な把握と対応 当面は現行制度で予算編成

**4 要求基準**

要求区分	内容	要求基準
1 しあわせ倍増枠	「しあわせ倍増プラン2009」及び「総合振興計画新実施計画」の計画に則った新規・拡大事業 市民の声・現場の声を反映し、市民ニーズに対応するための新規事業	所要額
2 区役所アイデア予算枠	区役所のアイデアによる市民サービス向上のための新規事業	所要額
3 行財政改革推進枠	改革のカルテに従い既存事業を廃止し、再構築を行った事業 (仮称)「新行財政改革推進プラン」に則った新規事業	所要額
4 既存公共施設保全活用経費	公共施設の安心と安全の確保を図る観点から、緊急性の高い修繕経費	所要額
5 義務的経費	人件費・公債費・法定扶助・法定繰出金など義務的経費のほか、財政局が指定する経費	所要額
6 投資的経費	普通建設事業費のうち、単年度の施設整備など臨時的な経費	所要額
7 局長マネジメント経費	上記要求区分1～6以外のすべての経費	前年度一般財源の90%～100%に特定財源を加えた額の範囲内

